

環境リモートセンシング研究センター教員会議（第14回）議事要旨

1. 日 時 平成29年3月16日（木）16:30～18:25
2. 場 所 環境リモートセンシング研究センター会議室（1階）
3. 出席者 安岡センター長、久世教授、近藤教授、ヨサファット教授、入江准教授、齋藤助教、和田専門員（事務センター長代理）
委任状 樋口准教授、本多准教授、梶原講師
海外渡航 本郷准教授
オブザーバー 楊特任助教
4. 教員会議(平成28年度第13回)議事要旨について
原案どおり承認された。
5. 議 題 （審議事項）
 - (1) 特任助教の採用について
安岡センター長から資料に基づき説明があり、審議の結果、1名の採用が承認された。
 - (2) 外国人研究者の受入れについて
近藤教授から資料に基づき説明があり、審議の結果、2名の受入れが承認された。
 - (3) 協力研究員の受入れについて
安岡センター長及び共同研究教員から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。
 - (4) 研究生の身分異動について
近藤教授から資料に基づき説明があり、審議の結果、1名の退学が承認された。
 - (5) 教育研究活動評価に係る評価分野等の設定について
久世教授から資料に基づき説明があり、原案の大枠について承認された。
 - (6) その他
特になし。
5. 報告事項
 - (1) 教育研究評議会（3/9）について
センター長から、資料に基づき説明があった。
 - ・テニユアトラック制に関する規程の一部改正について
 - ・学内組織の改組等に伴う規程等の改正等について
 - ・中期目標の達成状況に関する評価結果（案）について
 - ・平成28年度大学基本データ分析による自己点検・評価書について
 - (2) 大学運営会議（2/23, 3/9）について
センター長から、資料に基づき説明があった。
 - ・平成29年度学内予算配分（案）について
 - ・平成29年度学長裁量経費について
 - ・千葉大学墨田キャンパス（仮称）構想について
 - ・千葉大学の倫理教育の強化についての基本的な考えかたについて
 - ・「研究資料等の保存期間」の見直しについて
 - ・「定年退職教員（予定者及び既退職者含む）の外部研究費による研究活動に関するガイドライン」の改正について

- (3) 教員の海外渡航について
センター長から、資料に基づき説明があった。
- (4) その他
- ・奨学寄附金の受入れについて
ヨサファット教授から資料に基づき説明があった。外国政府からの受け入れについて事務で確認をすることとなった。
- 各種委員会等報告
- ・予算委員会
予算委員長から、新たに施設の修繕が発生したことについて報告があった。
 - ・共同利用研究推進委員会
センター長から、以下のとおり委員長の代理として報告があった。
共同利用研究発表会の資料集は印刷に回し、納品待ちである。
報告書の締め切りが3月17日であるので、受入れ教員から共同研究者へ連絡をお願いしたい。
平成28年度共同利用研究予算の残額の執行をお願いしたい。
平成29年度共同利用研究募集要項を関係機関宛に発送し、HPでも公開した。
 - ・広報委員会
広報委員長から、論文集の発行とニュースレターの担当者について報告があった。
 - ・施設委員会
施設委員長から、平成29年4月からの施設利用について資料に基づき報告があった。
 - ・計算機及びデータベース委員会
計算機及びデータベース委員長の代理として、齋藤助教から報告があった。
NOAAの撤去が完了した旨の報告と、関係各位への謝辞があった。
サポートが切れるOSへの対応をお願いしたい。
グローバルIPの継続申請、研究用VPLの申請について周知があった。
 - ・中期計画推進委員会
特になし。
 - ・自己点検・評価委員会
特になし。
 - ・教育委員会
教育委員長から、学生名簿の作成について報告があった。
リモートセンシングコースについて、コース長は任期1年とし、交代制とすることが確認された。また、運営に当たり、入試担当、教務担当、就職担当を決めることとなった。加えて、コースに関する事務について検討することとなった。
 - ・学術推進企画小委員会
特になし。

以上